



2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月6日

上場会社名 株式会社遠藤製作所

上場取引所 東

コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 大史

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門担当 (氏名) 青木 宏行

TEL 0256-63-6111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	5,111	11.6	133	59.7	200	45.8	101	45.4
2018年12月期第2四半期	5,785		330		369		186	

(注) 包括利益 2019年12月期第2四半期 384百万円 (%) 2018年12月期第2四半期 217百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	11.64	
2018年12月期第2四半期	21.32	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第2四半期	18,821	15,401	81.8
2018年12月期	18,604	15,117	81.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第2四半期 15,401百万円 2018年12月期 15,117百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		12.00	12.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年12月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当12円00銭 記念配当3円00銭

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	15.2	100	87.6	180	80.3	400	29.1	45.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年12月期2Q	9,441,800 株	2018年12月期	9,441,800 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2019年12月期2Q	706,271 株	2018年12月期	711,871 株
-------------	-----------	-----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2019年12月期2Q	8,732,002 株	2018年12月期2Q	8,729,929 株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注)期末自己株式数には、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式が含まれております(2019年12月期2Q79,400株、2018年12月期85,000株)。また、役員株式給付信託(BBT)制度の信託口が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2019年12月期2Q82,927株、2018年12月期2Q22,541株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、2019年8月27日(火)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料は、開催後に当社のホームページに掲載する予定です。

(日付の表示方法の変更)

「2019年12月期 第2四半期決算短信」より、日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に、設備投資が底堅く推移する等、景気は緩やかな回復基調で推移するものの、輸出や生産の一部に弱さが見られ、また、通商問題や中国経済の減速等の海外経済の不確実性の影響等から、景気を下押しする不安要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、主要取引先へ受注獲得の取り組みの強化や、新規販路の開拓に努めるとともに、更なる事業規模の拡大を図るため、鍛造事業で本社鍛造工場を隣接の旧ゴルフ工場跡地に移転・新工場の着工を進める一方、全社で生産効率の向上、生産体制の最適化に努め、製造コストの一層の低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は51億11百万円（前年同期比11.6%減）となりました。利益面につきましては、売上高の減少、タイ国の労働者保護法の改正に伴い、退職給付負債について影響額を計上したことや、パーツ高による為替の影響で輸入コストの増加等により、営業利益1億33百万円（同59.7%減）、経常利益2億円（同45.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益1億1百万円（同45.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、取引先主力モデルの受注獲得の取り組みを強化するとともに、1工場体制による生産効率の向上やコスト低減、生産リードタイムの短縮に努めましたが、取引先メーカーに対する受注数の減少等により、売上高17億64百万円（同14.4%減）、営業損失1億3百万円（前年同期は3百万円の営業損失）となりました。

(メタルスリーブ事業)

メタルスリーブ事業につきましては、高付加価値製品の開発・提案や新分野・新規販路の開拓に取り組む一方、生産稼働率の向上、合理化を進め生産コストの低減に努める等により、売上高5億84百万円（前年同期比2.8%減）、営業利益99百万円（同20.6%減）となりました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、タイ国内での競合が一層強くなる中、主要取引先に対し関係の強化、積極的な受注獲得活動に取り組むとともに、生産性の向上やコスト削減に努める等により、売上高27億63百万円（同11.5%減）、営業利益3億70百万円（同21.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、188億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億16百万円増加いたしました。

流動資産は、109億33百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億77百万円減少いたしました。この主な要因は、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、78億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加いたしました。この主な要因は、建設仮勘定が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、34億20百万円となり、前連結会計年度末に比べ66百万円減少いたしました。

流動負債は、19億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億27百万円減少いたしました。この主な要因は、短期借入金が増加したこと等によるものであります。固定負債は、14億32百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億61百万円増加いたしました。この主な要因は、長期借入金の増加等によるものであります。

純資産合計は、154億1百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億83百万円増加いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、13億85百万円の収入となりました。これは主に、売上債権の減少額8億76百万円、減価償却費4億69百万円等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、3億48百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出6億60百万円等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億74百万円の支出となりました。これは主に、短期借入金の減少2億円等によるものであります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は67億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億89百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年7月31日付公表「業績予想の修正に関するお知らせ」の予想数値に変更ありません。また、今後の動向を踏まえ、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,411,744	7,105,565
受取手形及び売掛金	2,925,337	2,080,856
商品及び製品	613,728	549,353
仕掛品	370,423	417,612
原材料及び貯蔵品	670,359	682,807
その他	136,662	108,155
貸倒引当金	△17,116	△10,402
流動資産合計	11,111,139	10,933,949
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,093,751	3,053,854
機械装置及び運搬具(純額)	1,759,970	1,816,017
工具、器具及び備品(純額)	156,181	178,248
土地	1,553,145	1,575,869
建設仮勘定	89,649	385,428
有形固定資産合計	6,652,699	7,009,418
無形固定資産		
投資その他の資産	16,816	25,042
投資その他の資産		
投資有価証券	75,403	69,997
投資不動産(純額)	244,428	243,087
退職給付に係る資産	462,720	491,697
繰延税金資産	21,385	26,326
その他	20,334	22,376
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	823,971	853,185
固定資産合計	7,493,487	7,887,646
資産合計	18,604,627	18,821,595

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	857,022	700,083
短期借入金	900,000	100,000
未払法人税等	103,471	80,995
未払金及び未払費用	510,503	401,190
賞与引当金	144,065	193,258
役員賞与引当金	20,000	—
前受金	—	252,875
その他	180,061	259,222
流動負債合計	2,715,122	1,987,625
固定負債		
長期借入金	200,000	750,000
繰延税金負債	173,210	153,688
退職給付に係る負債	281,074	388,527
役員株式給付引当金	12,611	16,659
資産除去債務	47,892	48,384
その他	56,846	75,683
固定負債合計	771,635	1,432,944
負債合計	3,486,758	3,420,569
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,220,643	1,220,643
利益剰余金	11,796,106	11,791,951
自己株式	△312,738	△308,493
株主資本合計	13,945,800	13,945,890
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△17,144	△22,550
為替換算調整勘定	1,218,285	1,506,034
退職給付に係る調整累計額	△29,073	△28,348
その他の包括利益累計額合計	1,172,068	1,455,135
純資産合計	15,117,868	15,401,025
負債純資産合計	18,604,627	18,821,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)
売上高	5,785,427	5,111,491
売上原価	4,667,490	4,245,773
売上総利益	1,117,937	865,718
販売費及び一般管理費	787,195	732,542
営業利益	330,741	133,175
営業外収益		
受取利息	22,395	27,790
受取配当金	1,141	1,473
投資不動産賃貸料	13,129	13,129
為替差益	5,000	23,587
その他	22,612	11,956
営業外収益合計	64,278	77,937
営業外費用		
支払利息	1,790	2,425
投資不動産賃貸費用	5,167	5,408
その他	18,720	3,083
営業外費用合計	25,678	10,917
経常利益	369,341	200,195
特別利益		
固定資産売却益	4,518	—
特別利益合計	4,518	—
特別損失		
固定資産売却損	10,807	—
固定資産除却損	23,433	—
特別損失合計	34,240	—
税金等調整前四半期純利益	339,618	200,195
法人税、住民税及び事業税	160,401	122,828
法人税等調整額	△6,878	△24,256
法人税等合計	153,523	98,571
四半期純利益	186,095	101,624
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,095	101,624

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	186,095	101,624
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,038	△5,406
為替換算調整勘定	△391,912	287,748
退職給付に係る調整額	—	724
その他の包括利益合計	△403,951	283,067
四半期包括利益	△217,856	384,691
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△217,856	384,691
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	339,618	200,195
減価償却費	470,515	469,796
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,890	△6,713
賞与引当金の増減額(△は減少)	213,885	49,192
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	△20,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	16,932	99,562
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△67,699	—
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	3,152	4,047
受取利息及び受取配当金	△23,536	△29,263
支払利息	1,790	2,425
為替差損益(△は益)	12,631	△17,563
有形固定資産売却損益(△は益)	6,288	—
有形固定資産除却損	31,420	—
売上債権の増減額(△は増加)	△285,302	876,708
たな卸資産の増減額(△は増加)	△24,359	38,285
仕入債務の増減額(△は減少)	6,744	△219,153
未収消費税等の増減額(△は増加)	27,276	△20,168
長期未収入金の増減額(△は増加)	8,262	—
その他	△28,342	44,824
小計	703,390	1,472,177
利息及び配当金の受取額	23,557	29,275
利息の支払額	△1,938	△2,540
法人税等の支払額	△138,587	△113,643
和解金の受取額	2,340	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	588,761	1,385,269
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	81,792	96,635
有形固定資産の取得による支出	△1,070,094	△660,046
有形固定資産の売却による収入	9,618	253,418
無形固定資産の取得による支出	△1,597	△12,148
固定資産の除却による支出	—	△25,927
投資活動によるキャッシュ・フロー	△980,280	△348,068
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△200,000
長期借入金の返済による支出	△80,870	△50,000
リース債務の返済による支出	△746	△19,182
配当金の支払額	△104,759	△105,779
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,375	△374,962
現金及び現金同等物に係る換算差額	△170,510	127,603
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△748,405	789,842
現金及び現金同等物の期首残高	5,992,006	5,954,433
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,243,601	6,744,276

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号(リース)を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

I. 前第2四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	2,061,851	600,587	3,122,988	5,785,427	—	5,785,427
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,100	—	—	5,100	△5,100	—
計	2,066,951	600,587	3,122,988	5,790,527	△5,100	5,785,427
セグメント利益又は損失(△)	△3,499	125,946	469,654	592,100	△261,359	330,741

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△261,359千円には、セグメント間取引の消去△5,100千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△256,259千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第2四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,764,427	584,033	2,763,029	5,111,491	—	5,111,491
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,548	—	—	2,548	△2,548	—
計	1,766,976	584,033	2,763,029	5,114,039	△2,548	5,111,491
セグメント利益又は損失(△)	△103,012	99,980	370,292	367,260	△234,085	133,175

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△234,085千円には、セグメント間取引の消去△2,548千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△231,536千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。